

11/6
(土)

鹿児島市で特産品をPR 離島振興の一助に



特設ブースで特産品を紹介

11月6日と7日の2日間、鹿児島市のイオンモール鹿児島で「かごしまの島々フェア」があり、獅子島のうまかもん幣串（濱明枝代表）が参加しました。

鹿児島県離島振興協議会の主催で、県内21の離島関係市町村が参加。離島の特産品販売を通じて、県内離島の知名度向上と特産品の消費拡大を目的に開催されました。

当日は、獅子島の「アオサ」をはじめ、徳之島の「乾燥パイヤ」、トカラ列島の「島バナナ」など島々の特産品が並びました。

来場者らは、離島ならではの特産品について生産者から説明を受け、興味を示していました。

11/18
(木)

蔵之元小学校で手話教室 障がいへの理解深める

11月18日、蔵之元小学校（古川進校長・53人）で手話教室が開かれ、3年生から6年生までの児童



手話での表現を学ぶ児童ら

37人が聴覚障がいを持つ人の生活に理解を深め、手話を使った表現などを学びました。

出水地区聴覚障害者協会の牧実夫さん（牧）が講師として招かれ、耳が聞こえなくて感じる不便なことや子どもの頃に取り組んだ発声練習などについて、手話通訳を通じて説明。児童らは熱心に耳を傾け、テレビの視聴や災害時の対応など疑問に感じたことを積極的に質問していました。

このほか、手話でのあいさつを教わったり、手話を当てるゲームを行ったりして、牧さんとの交流を楽しみました。5年生の小畑柊太君は「手話を通じて、障がいを持っている人を助けられることが分かった」と充実した様子でした。

11/18
(木)

令和3年度社会福祉協議会表彰 永年の功績に感謝



表彰式に出席した関係者ら

11月18日、町保健福祉センターで令和3年度九州社会福祉協議会連合会会長表彰と長島町社会福祉協議会会長表彰がありました。

これは、永年にわたり社会福祉活動やボランティア活動などに尽力し、その功績が顕著なかに贈られます。

表彰は民生委員や児童委員、社会福祉施設職員など23の個人や団体に贈られました。

表彰された特別養護老人ホームあかね園の飯尾常久施設長は「入居者や利用者、家族のかたがたからの感謝の言葉があってこれまでやってこれた。今後も快適な生活を送っていただくために尽力していきたい」と語りました。